

# 感染症対策に係る京丹後市避難所運営マニュアル

令和5年7月24日作成

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第104号)における「5類感染症」を想定とする感染症(以下、「感染症」という。)の予防、拡大防止のため、災害時の避難所での運営対応についてマニュアルを作成する。

避難所での感染症対策として、感染症患者や発熱等の症状がある避難者への対応が求められるため、避難所運営スタッフは本マニュアルに沿った避難所運営に備えることとする。

## 1 避難所運営スタッフの注意点

- (1) 発熱などの症状がある場合は避難所運営業務に就かず、支部(地区避難所においては区長等)に相談し交代を依頼する。
- (2) 運営中はマスクを着用すること。

## 2 避難所の運営

### (1) 事前に確認すべき事項

- ア 感染症患者や発熱等の症状がある避難者が利用する個室等の利用方法について、施設管理者と調整する。
- イ 感染症患者や発熱等の症状がある避難者が利用する個室や間仕切りなどで区切った専用スペース・トイレについては、一般の避難者と居住スペースや動線を分けることを検討する。
- ウ 感染対策として必要な物資を確保し、避難所に持参する避難所用感染症対策物品等の数量を確認する。

### (2) 避難所の設営等

- ア 養生テープでマークする、または避難所用マットを設置するなどして世帯毎に2mの間隔を設定し、十分なスペースを確保する(別紙1、3)。
  - (ア) 避難スペースは1人当たり2㎡(2m×1m)を基本とする。
  - (イ) 避難者間の間隔は1mを確保する。
- イ 手洗い場やトイレの場所を確認し、対面や滞留を回避できるような動線を確保する。

ウ 個人（又は家族）ごとの詳細な避難の区画を把握するため、室内配置図を作成し、避難者が発症した場合に備える。（別紙２）

(3) 受付時の流れ・注意点（避難所運営スタッフ）

ア 避難所の入口の外に「受付」を設け、検温、手指消毒、避難者カードの記入等が円滑に流れるよう配列を工夫するとともに、感染症患者や発熱等の症状がある避難者に備えてできるだけ入口から動線が分けられるようレイアウトの検討を行い、同所で必ず、避難者に「避難者カード（別紙５）」の記入を求めて提出させ、または、聞き取りにより記入を行う。

<検温>

- (ア) 検温は、できるだけ非接触型体温計により避難者自身が体温を測定する。
- (イ) 非接触型体温計で測定できない場合は、避難者自身が持参する体温計を使用しても差し支えない。

<避難者カード>

- (ウ) 感染者が発生した場合に備え、個人情報の漏洩に配慮しながら避難者の情報を管理する。
- (エ) 避難者カードは、一定期間（２週間）保管する。
- (オ) 避難所で感染症の陽性者が発生した場合において、感染経路等を把握するため、各世帯の滞在する区画等に番号を付して管理する。

イ マスクの着用は個人の判断に委ねることを基本とするが、高齢者等重症化リスクが高い者が多く避難する避難所においては、避難所内でのマスク着用を推奨する。なお、マスクを持参しておらず、配付を希望する避難者には配付する。

ウ 発熱や咳などの症状がない方は、一般の避難スペースに案内する。（※学校の体育館については、避難者の暑さ寒さ対策として、空調の効く教室等を使用させてもらうことを校長へ依頼済のため、校長に申し出て案内してもらうこと）

なお、濃厚接触者や自宅療養者については、専用スペースで受け入れる。

エ 学校等の体育館における一般の避難スペースでは、避難所用感染症対策物品として配備する避難所用マットを個人（又は家族）ごとに約１mの間隔に設定する。

オ 検温の結果、避難者に咳などの風邪の症状、発熱、強いだるさ、息苦しさ等のいずれかの症状がある場合は、検査キットを活用する。

なお、症状により地域の医療機関（かかりつけ医など）に相談する。夜間・休日等でかかりつけ医に相談ができない場合は、一時的に避難所の専用スペース

(個室等を含む。以下同じ。)へ案内する。(※本人が車中滞在を希望する場合は、避難所駐車場において私有車に滞在してもらう)

**＜相談の結果 ⇒ 医療機関等への受診が必要な避難者への対応＞**

- ・ 本人の私有車等で医療機関等に移動してもらう。
- ・ 徒歩等で避難した方については、一時的に避難所の専用スペースへ案内する。

**＜相談の結果 ⇒ 医療機関等への受診が必要でない避難者への対応＞**

- ・ 避難所の専用スペースへ案内する。また、専用のトイレが確保できる場合はトイレへの動線等を説明する。
- ・ 希望により避難所駐車場において本人の私有車に滞在してもらう。

**カ 専用スペースについて**

- (ア) 避難者間の間隔は2 mを確保する。
- (イ) 学校の体育館については、校長等に連絡の上、専用スペースに案内するとともに、専用トイレの使用について説明する。(別紙4)
- (ウ) 学校以外の施設については、あらかじめ決めた専用スペースを使用する。
- (エ) 専用スペースを確保することができない場合は、間仕切り、パーティション等で区切るなどの工夫をする。それでもできない場合は市へ連絡し、別の避難施設への移送を求める。
- (オ) 感染症患者や発熱等の症状がある避難者の専用スペースや専用トイレは、一般の避難者とはゾーン、動線を分ける。

**キ 専用スペースへ案内した後は、避難者の氏名、住所、体温、健康状態のチェックを行い、チェックの結果等の情報を連絡するとともに、専用スペース入所者用体調チェック表(別紙7)を用いて、定期的(朝、昼、夕)に避難者の体調管理を行う。**

**ク 車中の避難者がいる場合は、車中避難者にも避難者カード(別紙5)の記入を依頼し、「エコノミークラス症候群予防チラシ(資料)」を配付する。また、トイレの使用時など避難所へ出入りする際のマスク着用と手指消毒を周知徹底する。**

**(4) 開設中の留意点(避難所運営スタッフ)**

**ア 避難者カードの管理とともに、「避難所入所記録簿(別紙6)」を作成して、市からの求めに応じて、入退記録、避難者情報を報告する。**

**イ 避難者の健康管理や避難所の衛生管理、感染症患者や発熱等の症状がある避難者への対応に留意する。**

- ウ 定期的に窓を開けるなどの換気を行い、密閉状態を解消するよう努める。
- エ 避難者に定期的な手洗いや手指消毒を促すなど基本的な感染対策を周知する。
- オ 多くの人が手を触れる共有部分（手すり、ドアノブなど）については、定期的に消毒液で除菌する。
- カ 多くの避難者が来所し、十分な間隔を確保できないことが見込まれる場合は、早い段階で市と協議し、別室の使用や近隣避難所の移動等を依頼する。
- キ 避難所用感染症対策物品の残量に注意し、必要に応じて補充する。
- ク マスク、手袋着用の上、ゴミ袋はしっかりと口を閉じて、避難所開設後、適切な処理を行う。

(5) 開設時の留意点（避難所運営スタッフ）

- ア 開設時に避難者カードをまとめ、右上部の避難所名、受付No.を確認のうえ市に提出（地区避難所にあつては、市の求めに応じて提出）する。なお、避難者カードの取り扱いには十分に注意すること。
- イ 開設時には手すりやドアノブなど多くの人が触れる共用部分を消毒液で除菌する。
- ウ 使用した避難所用マット等は消毒液で除菌し、収納する。
- エ マスク、手袋、エプロン等を着用し、症状がある者が使用した箇所を消毒液等で除菌する。

**3 感染者や発熱等の症状がある避難者への対応（避難所運営スタッフ）**

- (1) 避難生活において発熱や体調不良などの症状が出た場合、専用スペースへ案内する。
- (2) 体調不良者の増加に備え、専用スペースの確保を検討する。なお、自宅療養者が避難してきた場合に備え同様の対応を行うことを検討する。
- (3) 避難者数を市へ報告する際に、専用スペースの開設数、発熱や咳などの症状がある避難者の数を報告する。
- (4) 体調不良者の状態を観察し、必要に応じて市に報告する。

#### 4 その他の留意事項

避難所用感染症対策物品等

携行品	数量	備考	確認欄
このマニュアル	1 部	各自持参	<input type="checkbox"/>
避難所入所記録簿（別紙 6）	適量		<input type="checkbox"/>
避難者カード（別紙 5）	適量		<input type="checkbox"/>
避難者の配置図（別紙 2-1）	適量		<input type="checkbox"/>
専用スペース入所者用体調チェック表（別紙 7）	適量		<input type="checkbox"/>
筆記用具（ペグシル）	適量		<input type="checkbox"/>
クリップボード	適量		<input type="checkbox"/>
電子体温計	1 個		<input type="checkbox"/>
アルコール綿	50 枚		<input type="checkbox"/>
手指消毒液（300ml）	1 本		<input type="checkbox"/>
スプレー式消毒液ボトル（500ml）＋消毒剤	1 本		<input type="checkbox"/>
消毒液拭き取り用ロールシート	1 個		<input type="checkbox"/>
ペーパータオル（220 枚）	1 個		<input type="checkbox"/>
フェイスシールド	2 枚		<input type="checkbox"/>
ポリエチレン製手袋（100 枚）	1 箱		<input type="checkbox"/>
使い捨てビニールエプロン	20 枚		<input type="checkbox"/>
ハンドソープ	2 個		<input type="checkbox"/>
マスク（50 枚）	1 箱		<input type="checkbox"/>
ゴミ袋	12 枚		<input type="checkbox"/>
養生テープ	1 個		<input type="checkbox"/>
エコノミークラス症候群予防チラシ（資料）	適量		<input type="checkbox"/>
（状況に応じて持参する物）			
毛布	適量	支部に要請	<input type="checkbox"/>
備蓄水	適量	支部に要請	<input type="checkbox"/>
その他備蓄物資等		支部に要請	

## 防災倉庫（避難所運営用資機材保管庫）について

指定避難所としている学校の敷地内に設置している防災倉庫（避難所運営用資機材保管庫）に以下の物品を保管しています。カギは市民局と学校にあります。

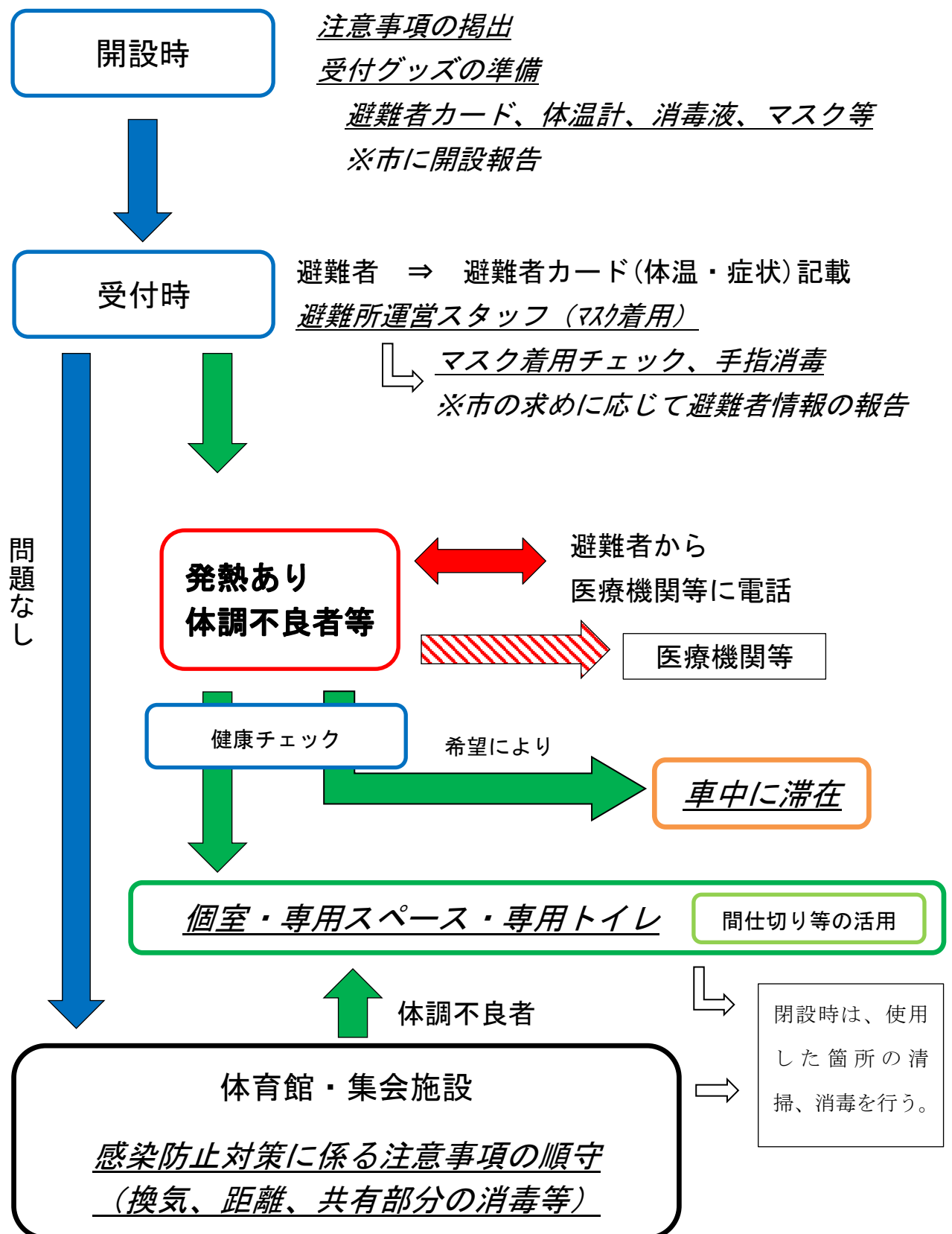
【防災倉庫内物品】

令和5年3月末現在

物品名	数量
毛布（10枚入り）	4箱
段ボールベッド	5個
段ボール間仕切りセット	5セット
プラスチック製間仕切り	5セット
避難所用マット（10枚入り）	2箱
ワンタッチパーテーション	4基
プライベートルーム	1基
受付テーブルセット	1セット
消毒用ミニテーブル	1台
簡易トイレ、トイレ用テント	2セット
凝固剤	400枚
扇風機（体育館内に配置している場合あり）	1台
コードリール（ 〃 ）	1台



## 感染症対策に係る避難所開設・運営フロー



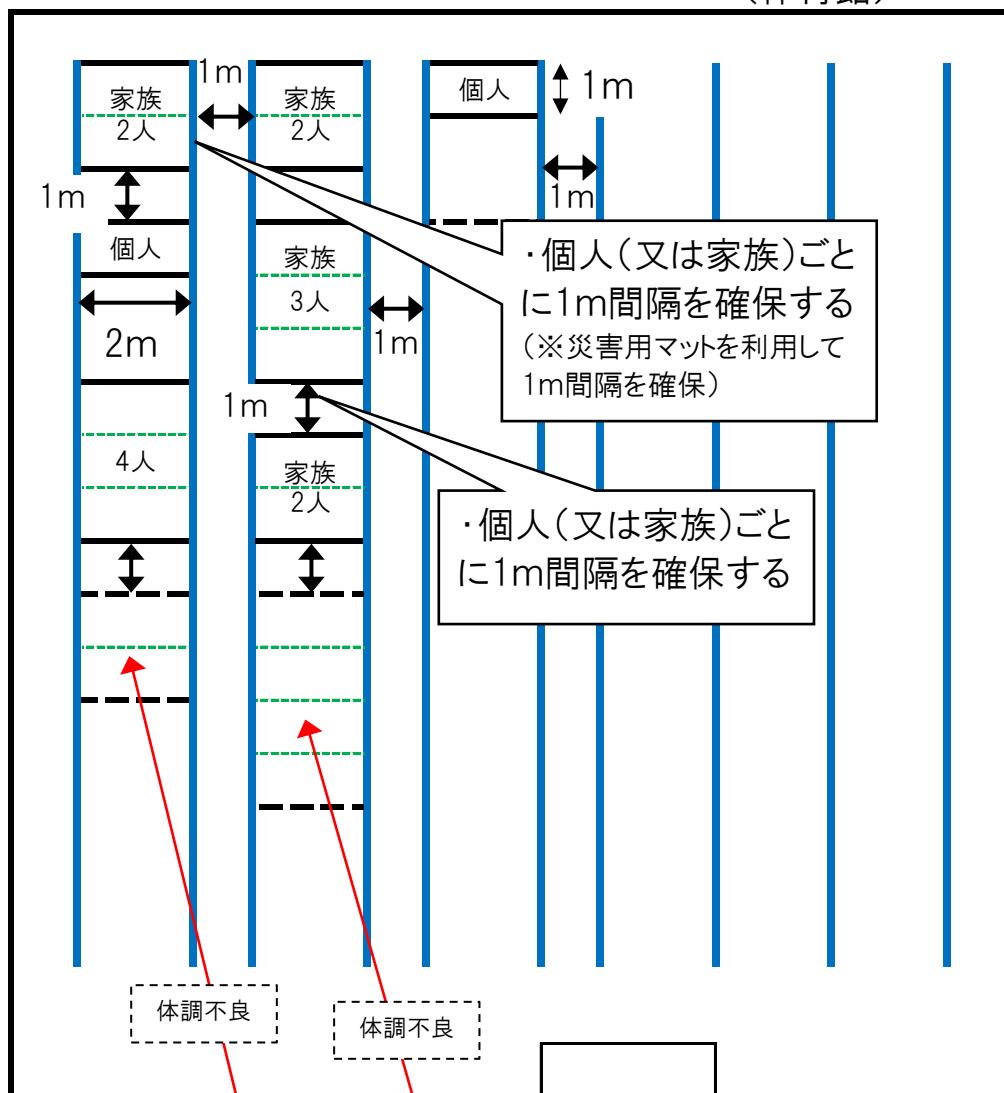
【参考】地区避難所への配布資材

配布資材	数量	備考	確認欄
避難所入所記録簿（別紙 6）	適量		<input type="checkbox"/>
避難者カード（別紙 5）	適量		<input type="checkbox"/>
避難者の配置-1 図（別紙 2-1）	適量		<input type="checkbox"/>
専用スペース入所者用体調チェック表（別紙 8）	適量		<input type="checkbox"/>
筆記用具（ペグシル）	適量		<input type="checkbox"/>
アルコール綿	50 枚		<input type="checkbox"/>
手指消毒液（500ml）	2 本		<input type="checkbox"/>
スプレー式消毒液ボトル（500ml）＋消毒剤	1 本		<input type="checkbox"/>
消毒液拭き取り用ロールシート	1 個		<input type="checkbox"/>
ペーパータオル（220 枚）	1 個		<input type="checkbox"/>
フェイスシールド	4 枚		<input type="checkbox"/>
ポリエチレン製手袋（100 枚）	50 双		<input type="checkbox"/>
マスク（50 枚）	1 箱		<input type="checkbox"/>
ゴミ袋	12 枚		<input type="checkbox"/>
使い捨てエプロン	20 枚		<input type="checkbox"/>
プラスチック製パーティション	2 セット		<input type="checkbox"/>
非接触型体温計	1 個		<input type="checkbox"/>
手指消毒ジェル	2 本		<input type="checkbox"/>
ハンドソープ	2 本		<input type="checkbox"/>
袖付きエプロン	4 枚		<input type="checkbox"/>
エコノミークラス症候群予防チラシ（資料）	適量		<input type="checkbox"/>



(別紙1)配置図の例

(体育館)



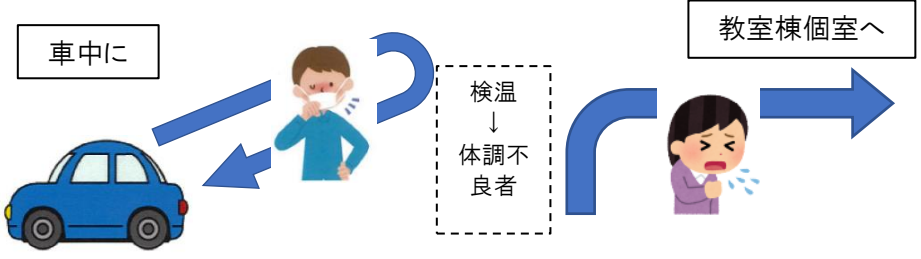
体調不良

体調不良

出入口



受付



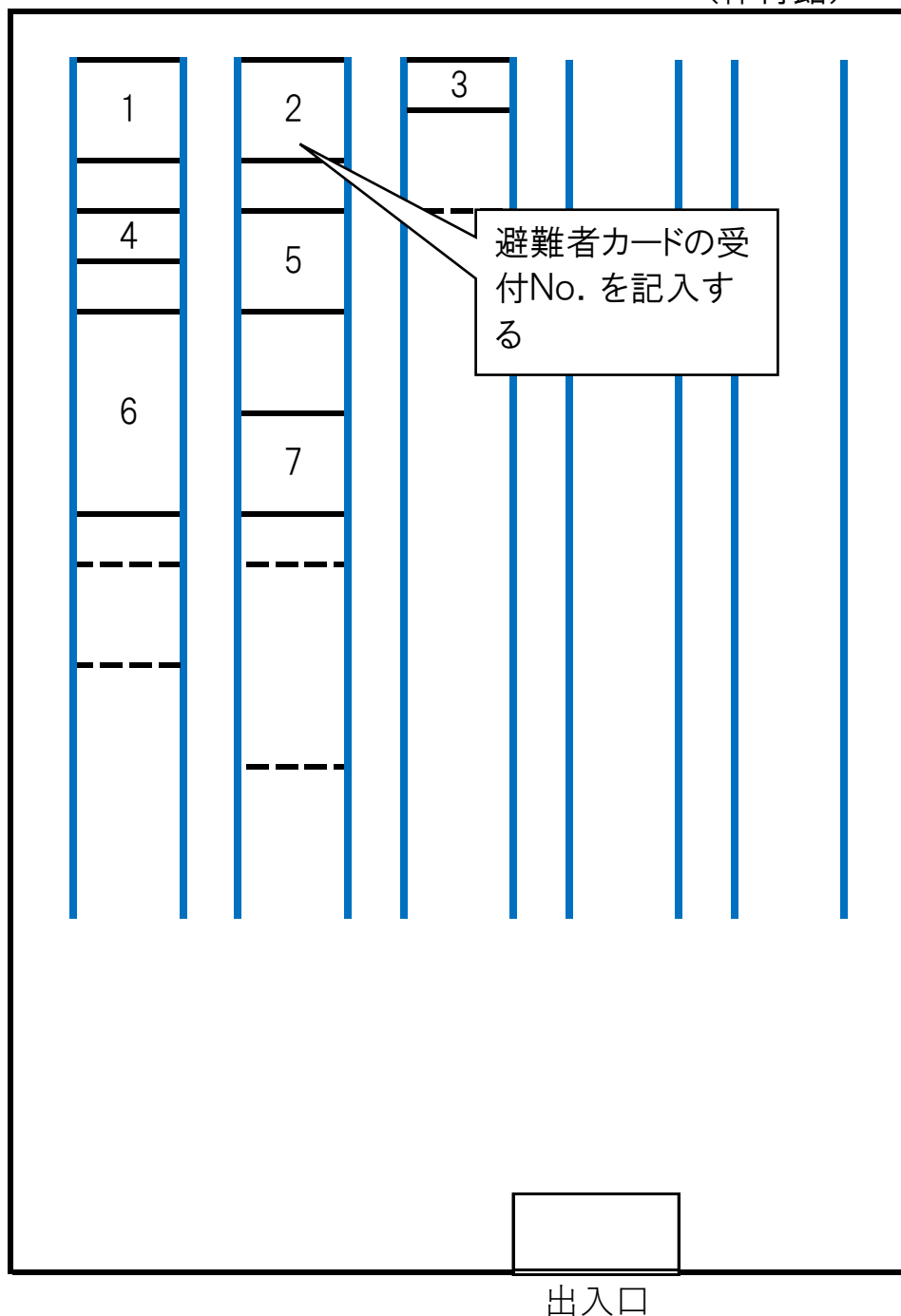
車中に

検温  
↓  
体調不良者

教室棟個室へ

(別紙2)配置図の例

(体育館)



出入口

受付

# (別紙3)配置図の例

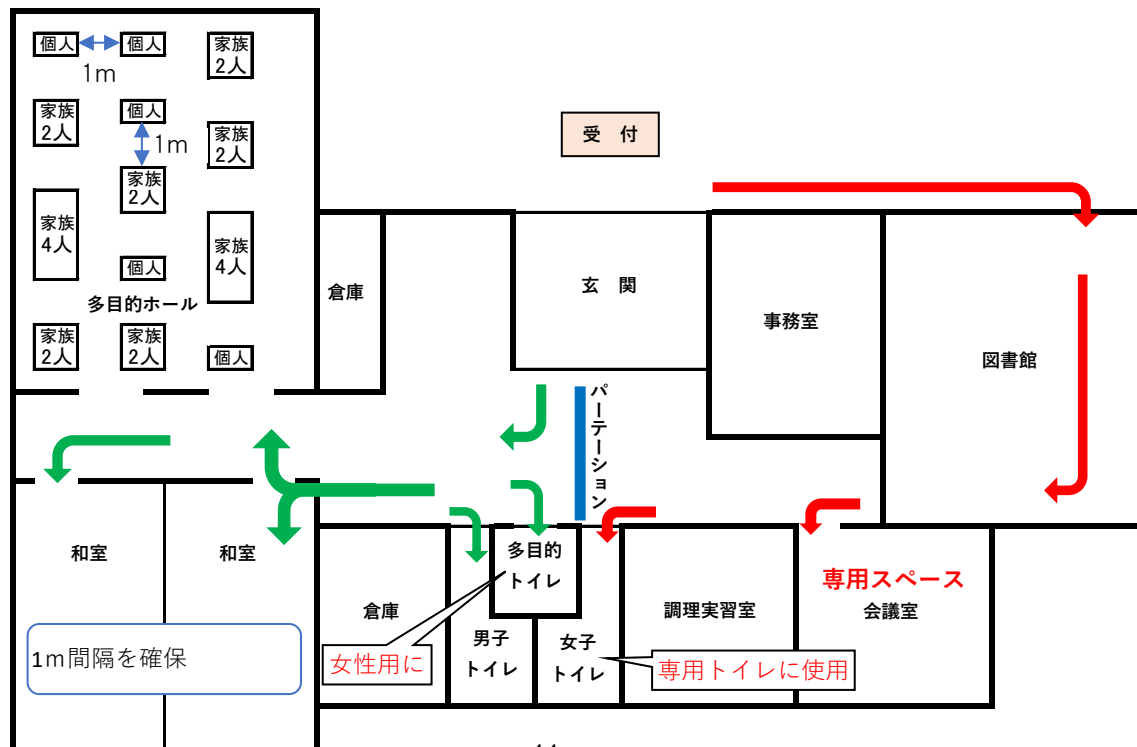
## ◆地区集会施設等



発熱など症状のある方

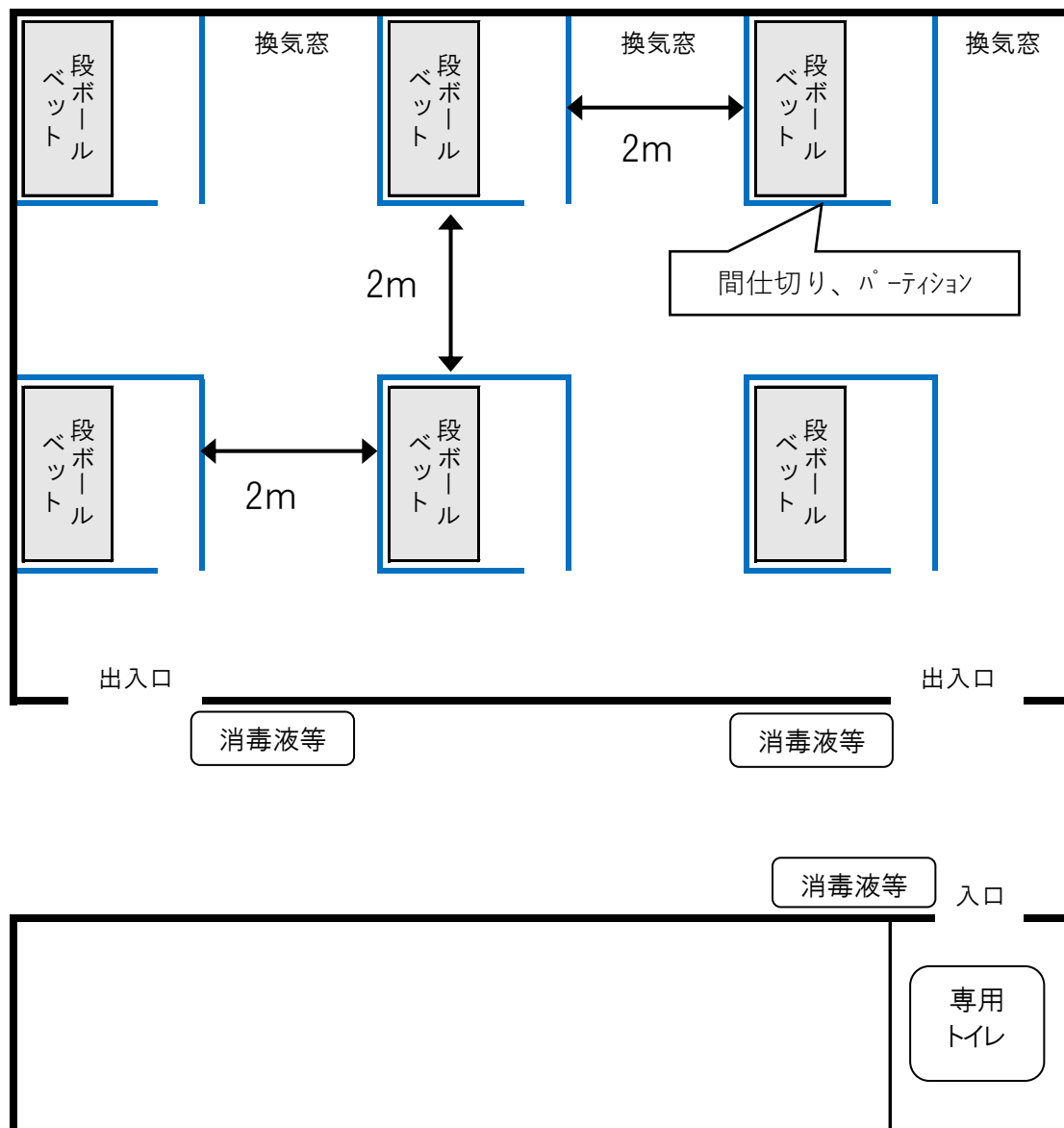


一般の避難者



## (別紙4)配置図の例

### ◆専用スペース(教室・特別教室など)



- 専用スペースにおける避難者間の間隔は2mを確保する。
- 感染症患者や発熱等の症状がある避難者は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。  
やむを得ず同室にする場合は、間仕切り等で区切るなどの工夫をする。

## 避難者カード

避難者カード		避難所名		受付No.		
避難日時	入所時間： 月 日 時 分 / 退所時間： 月 日 時 分					
避難場所	避難所 / 車両(車種 色 ナンバー )					
住 所						
世帯代表者の電話番号(自宅又は携帯)						
※配慮が必要な事項に、「ある」をチェックした方は、裏面に詳細を記入してください。						
家族等の状況	ふりがな 氏名	年齢	性別	体温℃	健康状態(症状をチェック)	配慮が必要な事項
世帯代表者		歳			<input type="checkbox"/> 咳などの風邪症状がある <input type="checkbox"/> 強いだるさがある <input type="checkbox"/> 息苦しさがある <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし
家族・同居人等		歳			<input type="checkbox"/> 咳などの風邪症状がある <input type="checkbox"/> 強いだるさがある <input type="checkbox"/> 息苦しさがある <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし
		歳			<input type="checkbox"/> 咳などの風邪症状がある <input type="checkbox"/> 強いだるさがある <input type="checkbox"/> 息苦しさがある <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし
		歳			<input type="checkbox"/> 咳などの風邪症状がある <input type="checkbox"/> 強いだるさがある <input type="checkbox"/> 息苦しさがある <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし
		歳			<input type="checkbox"/> 咳などの風邪症状がある <input type="checkbox"/> 強いだるさがある <input type="checkbox"/> 息苦しさがある <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし
	歳			<input type="checkbox"/> 咳などの風邪症状がある <input type="checkbox"/> 強いだるさがある <input type="checkbox"/> 息苦しさがある <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし	
ペット(種類)			特徴(名前・色・大きさ等)			
家族等からの安否確認への回答	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可		※必ず家族全員の同意を得たうえで☑を記入すること。また、DVの被害等により情報開示を希望しない場合は、必ず申し出をすること。			

本調査票に記載した情報を避難所の管理者、京丹後市災害警戒(対策)本部、京都府丹後保健所等において共有することに同意します。

氏名(世帯主又は代表者) 署名

(裏面)

	氏名	配慮が必要な事項													
		妊産婦	要介護	心身の状況						アレルギー	服薬	その他			
				身体		精神	知的	発達	その他						
				□ 肢体	□ 内部										
家族等の状況		□	□	□ 視覚	□ 聴覚	□	□	□	□	□	□	□			
				□ 肢体	□ 内部										
		□	□	□ 視覚	□ 聴覚	□	□	□	□	□	□	□			
				□ 肢体	□ 内部										
		□	□	□ 視覚	□ 聴覚	□	□	□	□	□	□	□			
				□ 肢体	□ 内部										
		□	□	□ 視覚	□ 聴覚	□	□	□	□	□	□	□			
				□ 肢体	□ 内部										
		□	□	□ 視覚	□ 聴覚	□	□	□	□	□	□	□			
				□ 肢体	□ 内部										
		□	□	□ 視覚	□ 聴覚	□	□	□	□	□	□	□			
				□ 肢体	□ 内部										

災害名称( 令和 年 )

避難者名簿(避難所入所記録簿)

現在 (24時表示)

避難所入所記録簿

避難所名		担当職員名	
------	--	-------	--

【開設日時】 R . . / : (24h表示)

【閉鎖日時】 R . . / : (24h表示)

番号	入 所 年月日	入 所時 間	氏 名 生年月日	現 住 所 電 話 番 号	性別	世帯主 続柄等	要配慮者	体温 ・ 症状	備考	退 所 年月日	退 所 時 間
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											

支部

避難所入所記録簿

避難所名	〇〇公民館	担当職員名	□□□□
------	-------	-------	------

【開設日時】 R 2. 7. 1 / 20 : 45 (24h表示)

【閉鎖日時】 R 2. 7. 2 / 5 : 00 (24h表示)

番号	入 所 年月日	入 所時 間	氏 名 生年月日	現 住 所 電 話 番 号	性別	世帯主 続柄等	体温 ・ 症状	備考	退 所 年月日	退 所 時 間
1	R2.7.1	20:55	京丹後 太郎	〇〇町△△番地 0772-〇〇-〇〇〇〇	男	世帯主	37.5℃ 発熱	咳症状もあり、 専用スペースへ 案内した。	R2.7.2	3:30
2	R2.7.1	20:55	京丹後 花子	〃	女	配偶者	35.9℃ なし		R2.7.2	3:30
3	R2.7.1	20:55	京丹後 一郎	〃	男	子	36.5℃ なし		R2.7.2	3:30
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										

記載例



専用スペース入所者用体調チェック表

(別紙7)

避難所名：

ふりがな	居住地区	その他(基礎疾患・服薬の有無等)
氏名		

確認日		/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )	/ ( )
体温		朝 昼 夕 ℃ ℃ ℃	朝 昼 夕 ℃ ℃ ℃	朝 昼 夕 ℃ ℃ ℃	朝 昼 夕 ℃ ℃ ℃	朝 昼 夕 ℃ ℃ ℃	朝 昼 夕 ℃ ℃ ℃	朝 昼 夕 ℃ ℃ ℃
呼吸器系	①息が荒くなった	はい・いいえ 番号	はい・いいえ 番号	はい・いいえ 番号	はい・いいえ 番号	はい・いいえ 番号	はい・いいえ 番号	はい・いいえ 番号
	②急に息苦しくなった							
	③少し動くと息が上がる							
	④胸の痛みがある							
	⑤横になれない・座らないと息ができない							
	⑥肩で息をしている・セーセーしている							
味覚・臭覚	味や臭いを感じられない	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
喀痰・咳	咳や痰がひどくなった	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
倦怠感	起きているのがつらい	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
嘔吐・吐気	嘔吐や吐き気が続いている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢	下痢が続いている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
その他	その他の症状 例) 半日以上尿が出ない、鼻水・鼻づまり、 のどの痛み、結膜充血、頭痛、関節筋肉 痛、けいれん、その気になる症状	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
		はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)

## エコノミークラス症候群の予防のために

### ○ エコノミークラス症候群とは

食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり血液が固まりやすくなります。その結果、血の固まり(血栓)が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発する恐れがあります。

### ○ 予防のために心掛けると良いこと

予防のためには、

- ① ときどき、軽い体操やストレッチ運動を行う
- ② 十分にこまめに水分を取る
- ③ アルコールを控える。できれば禁煙する
- ④ ゆったりとした服装をし、ベルトをきつく締めない
- ⑤ かかとの上げ下ろし運動をしたりふくらはぎを軽くもんだりする
- ⑥ 眠るときは足をあげる

などを行いましょう。

### ○ 予防のための足の運動

